

# 第1回 新三国トンネル環境検討委員会 議事概要

日 時：平成26年6月19日（木）14時～16時

場 所：（一財）先端建設技術センター 会議室

出席者： 大島委員長（首都大学東京客員教授）  
阿南委員（（独）土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員）  
太田委員（（公財）鉄道総合技術研究所 防災技術研究部長）  
吉川委員（群馬大学名誉教授）  
久保田委員（新潟大学准教授）  
石田委員（みなかみ町 地域整備課長）  
角谷委員（湯沢町 地域整備課長）  
川端委員（国土交通省関東地方整備局 道路工事課長）  
信太委員（国土交通省関東地方整備局 高崎河川国道事務所長）

## 議事概要

### （1）環境検討委員会設立について

#### ① 設立趣意書及び規約について

■本委員会の趣意書（案）及び規約（案）について、了承した。

### （2）議事

#### ① 環境検討委員会の設立の背景と検討内容

■環境検討委員会の設立の背景と検討内容の説明について、了承した。

#### ② トンネル掘削ズリ処理対策

##### ■審議結果

- 対策を要するズリ量は、全量（約12万m<sup>3</sup>）とする。
- ズリ活用計画地の位置については、原案どおりとする。
- ズリ処理対策工法としては、第1案の2重遮水シート工法とする。
- ズリ処理対策に関わる審議項目については、原案どおりとする。

##### ■確認事項等

- 暴露試験について、継続して実施している浸出水の分析結果の確認をすること。
- ズリ埋立の容量12万m<sup>3</sup>とすることについて次回委員会で根拠を示すこと。
- ズリ活用地周辺の用水路・井戸の水質等のデータは事前に得ておくこと。
- 自己修復機能を持たせたシートについても確認し、検討すること。
- FEM沈下予測解析においてdt-2層の変形係数をN値から設定していることについて、ボーリング原位置試験から確認することも検討すること。

○深層混合の地盤改良で、六価クロムの溶出対応についての資料を提示すること。

③ トンネル施工中及び完成後に課題となる排出水の対策

■審議結果

○トンネル施工中・完成後の排出水に対する基本方針については原案とおりにする。

○トンネル排水対策に関わる検討課題については、原案とおりにする。

④ その他

■次回委員会の開催日は、平成 26 年 8 月 1 日（金）とする。